

静岡県東部地域企業経営動向調査

2012年7～9月期実績
 2012年10～12月期見通し

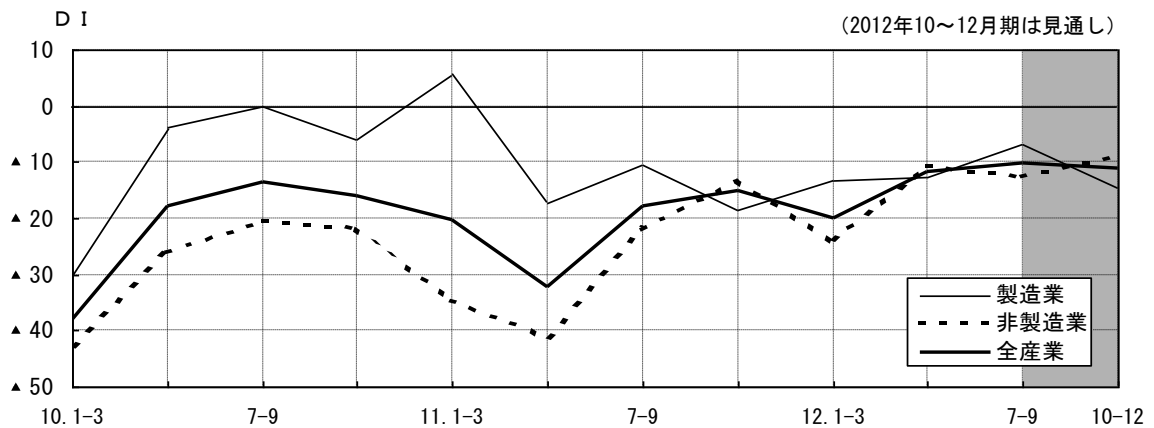
業況概要(自社)

～業況は横ばいで推移、製造業で先行き懸念やや強まる～

静岡県東部地域における2012年7～9月期の業況判断DIは、全産業で▲10.3（前期▲11.6）とわずかに上昇したが、概ね横ばい圏内で推移した。うち、製造業は▲6.7（同▲12.7）と上昇した。一方、非製造業では▲12.6（同▲10.8）とわずかに低下に転じている。

2012年10～12月期の予想DIは、全産業で▲11.1となり、今期同様に横ばい圏内での推移とみられる。製造業は▲14.4と一転して下降が見込まれ、先行きへの懸念がやや強まっているが、非製造業では▲9.0とやや回復に転じると見ている。

《業況判断指数推移》



DI：ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。

「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

《業種別天気図》

業況上昇 ← → 業況下降



	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2012年4～6月期	☁/☔	☔	☁/☔	☁	☁/☔	☁	☁/☔	☁/☔
2012年7～9月期	☁	☁	☔	☁	☁/☔	☁	☁	☁/☔
2012年10～12月期	☁/☔	☁	☁/☔	☔	☁	☁/☔	☁/☔	☁

※2012年10～12月期は見通し

《調査の概要》

- 調査目的
静岡県東部地域（富士川以東）の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,070社
回答数 271（回答率 25.3%）
※業種別企業数は4ページ図表を参照
- 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間
実績：2012年7～9月期
見通し：2012年10～12月期
- 調査時点
2012年8～9月

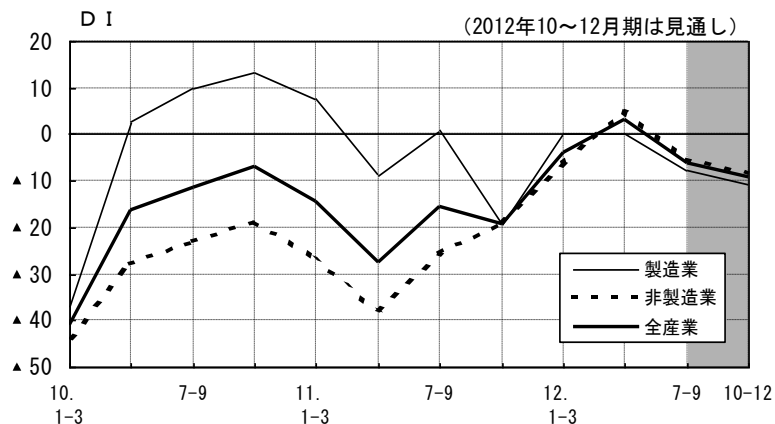
売上動向

製造業、非製造業とも低下に転じる、先行きにも懸念

2012年7～9月期の全産業の売上動向D I（対前年同期比）は▲6.3（前期3.1）と低下し、再びマイナスの水準となる。製造業では食料品のみD Iが大幅に上昇し23.1とプラス水準に転じたが、他の業種ではいずれも低下しており、パルプ・紙・紙加工品（▲29.4）、金属製品（▲23.5）、その他製造業（▲5.7）はいずれも前期比10ポイント以上の低下、一般機械器具（0.0）も約6ポイント低下したため、全体で▲7.7（前期0.0）となった。一方、非製造業では建設業（1.9）が前年の震災による影響の反動から20ポイント以上上昇し、プラスとなったが、旅館・その他宿泊所（0.0）が前期比やや低下した他、企業数の多いその他小売・サービス業等（▲10.3）で前期比30ポイント近い大幅な低下を示したことから、全体D Iは▲5.4（前期5.1）と落ち込み、マイナス水準となっている。

2012年10～12月期の予想D Iは、全産業で▲9.3、うち製造業で▲10.6、非製造業で▲8.5といずれも今期に続いて低下が見込まれ、先行きへの懸念が表れている。

《売上動向の推移》



	今期	前期
食料品	23.1	▲20.0
パルプ・紙・紙加工品	▲29.4	▲16.7
金属製品	▲23.5	▲5.9
一般機械器具	0.0	6.3
その他製造業	▲5.7	12.2
製造業計	▲7.7	0.0
旅館・その他宿泊所	0.0	5.9
その他小売・サービス業等	▲10.3	17.6
卸・小売・サービス業計	▲8.8	15.7
建設業	1.9	▲18.4
非製造業計	▲5.4	5.1

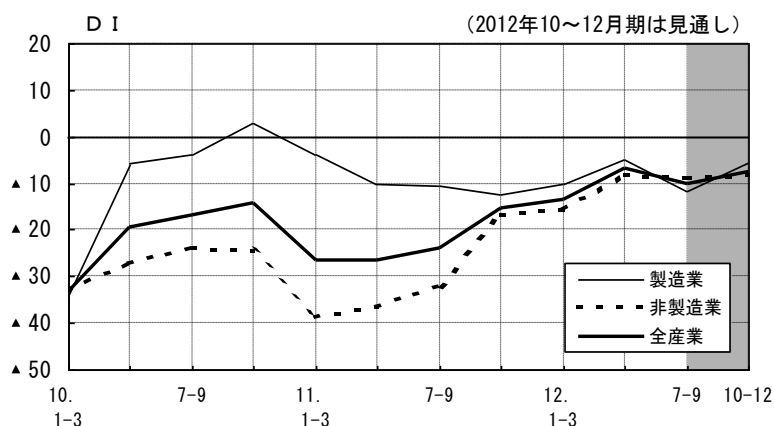
利益動向

全体D Iは低下に転じるも、非製造業では小幅な低下にとどまる

2012年7～9月期の全産業の利益動向D I（対前年同期比）は▲10.0（前期▲6.9）となり、D Iは低下に転じた。うち、製造業は食料品（15.4）でD Iが前期比50ポイント以上上昇し、プラス水準を回復したものの、パルプ・紙・紙加工品（▲41.2）では同約30ポイントの大幅な低下となった。さらに金属製品（▲17.6）、一般機械器具（▲22.7）、その他製造業（2.9）においてもD Iは前期より低下したことから、全体で▲11.5（前期▲4.9）となる。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所（6.7）で前期比約17ポイント低下、建設業（▲27.8）で同約5ポイント低下したが、その他小売・サービス業等（▲1.0）では前期比約5ポイント改善されたため、全体D Iは▲9.1（同▲8.3）と製造業より小幅な低下にとどまっている。

2012年10～12月期（見通し）の予想D Iは、全産業で▲7.4と若干の上昇を見込んでいる。うち製造業では▲5.8と改善への期待感が強くみられる。一方、非製造業でも▲8.4と小幅な上昇となっている。

《利益動向の推移》



	今期	前期
食料品	15.4	▲40.0
パルプ・紙・紙加工品	▲41.2	▲11.1
金属製品	▲17.6	▲5.9
一般機械器具	▲22.7	▲18.8
その他製造業	2.9	12.2
製造業計	▲11.5	▲4.9
旅館・その他宿泊所	6.7	23.5
その他小売・サービス業等	▲1.0	▲6.6
卸・小売・サービス業計	0.0	▲1.9
建設業計	▲27.8	▲22.4
非製造業計	▲9.1	▲8.3

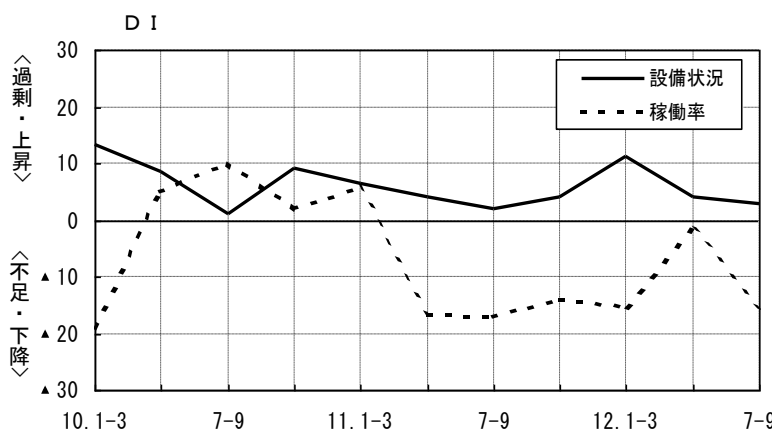
設備状況・稼働率
(製造業)

設備状況は概ね横ばいで推移も、稼働率は全業種で「下降」に

2012年7～9月期の設備状況DIは2.9(前期3.9)とわずかに低下、「過剰」感は概ね横ばいで推移している。業種別では、食料品(▲30.8)のみDIが前期比10ポイント以上低下し、引続き「不足」感を強めている。また、一般機械器具(0.0)でもDIが低下し「適正」状態となった。一方、パルプ・紙・紙加工品(11.8)、金属製品(5.9)、その他製造業(11.4)ではいずれも小幅ながらDIが上昇しており、「過剰」感が強まる方向を示している。

一方、稼働率DIは▲15.4(前期▲2.0)と低下に転じ、「下降」の傾向が強まっている。食料品(▲15.4)のみDIが前期比大幅な上昇となったが、他のパルプ・紙・紙加工品(▲29.4)、金属製品(▲11.8)、一般機械器具(▲22.7)、その他製造業(▲5.7)ではいずれもDIが前期比10ポイント以上の低下となり、結果として全業種で稼働率は「下降」状態になっている。

《設備状況・稼働率の推移》



設備状況	今期	前期
食料品	▲30.8	▲20.0
パルプ・紙・紙加工品	11.8	5.6
金属製品	5.9	0.0
一般機械器具	0.0	6.3
その他製造業	11.4	9.8
製造業計	2.9	3.9

稼働率(対常態)	今期	前期
食料品	▲15.4	▲40.0
パルプ・紙・紙加工品	▲29.4	5.6
金属製品	▲11.8	0.0
一般機械器具	▲22.7	▲6.3
その他製造業	▲5.7	4.9
製造業計	▲15.4	▲2.0

在庫状況
(製造業)

食料品でDIが大幅に低下、全体でも在庫過剰感は緩和に転じる

2012年7～9月期の在庫状況(製造業)DIは12.6(前期17.6)で、前期の上昇から下降に転じ、在庫過剰感は緩和の方向にある。「過剰」とする企業の比率は18.4%(同18.6%)とほぼ横ばいで推移したが、「不足」の比率が5.8%(同1.0%)とやや上昇している。

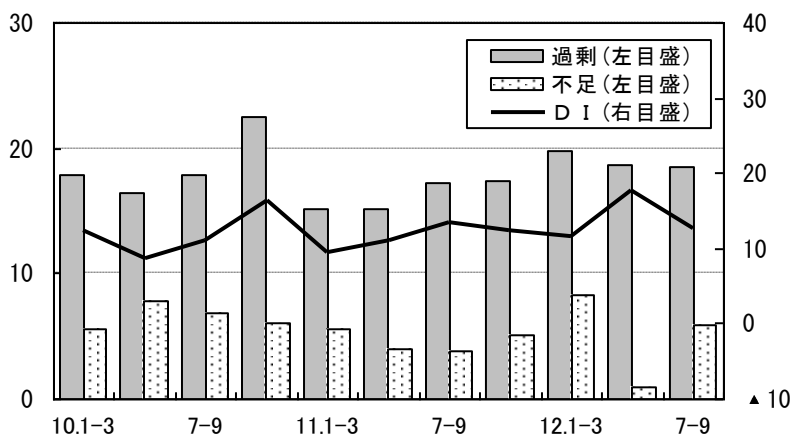
業種別では、食料品(▲15.4)でDIが前期比25ポイントの大幅低下となり、「過剰」から「不足」の状態に転じた。また、パルプ・紙・紙加工品(29.4)、一般機械器具(18.2)、その他製造業(11.4)ではDIは前期比数ポイント程度の小幅な低下を示したが、いずれも依然「過剰」範囲内にある。一方で、前期相対的にDIが低かった金属製品(12.5)ではDIが前期比約6ポイント上昇しており、唯一「過剰」感を強めている。

《在庫状況》

	(前期) 2012年 4～6月期	(今期) 2012年 7～9月期
過 剰	18.6 %	18.4 %
適 正	80.4 %	75.7 %
不 足	1.0 %	5.8 %
D I	17.6	12.6

(%は回答企業の比率)

《在庫状況の推移》



設備資金借入
動向(来期)

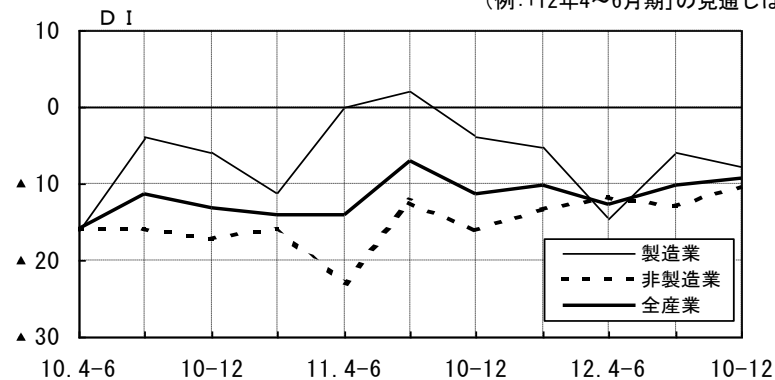
非製造業ではD I上昇、製造業では低下にそれぞれ転じる

2012年10～12月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し) D Iは▲9.4(前期▲10.2)と2期連続で上昇し、借入抑制の基調が緩和の傾向にある。うち非製造業では旅館・その他宿泊所(▲13.3)や建設業(▲18.9)でD Iが前期比わずかに低下したが、その他小売・サービス業等(▲5.2)ではD Iが改善し、全体でも▲10.4(前期▲12.9)と上昇に転じている。一方、製造業では金属製品(5.9)でD Iが前期比大きく改善、パルプ・紙・紙加工品(▲11.8)もやや上昇したが、食料品(▲7.7)、一般機械器具(▲22.7)、その他製造業(▲2.9)で低下しており、全体D Iは▲7.8(同▲5.9)と低下に転じている。

《設備資金借入動向推移(見通し)》

※すべて「来期の見通し」について調査

(例:「12年4～6月期」の見通しは、同1～3月期時点の調査結果による)



	今期	前期
食料品	▲7.7	0.0
パルプ・紙・紙加工品	▲11.8	▲16.7
金属製品	5.9	▲11.8
一般機械器具	▲22.7	▲18.8
その他製造業	▲2.9	5.0
製造業計	▲7.8	▲5.9
旅館・その他宿泊所	▲13.3	▲11.8
その他小売・サービス業等	▲5.2	▲11.1
卸・小売・サービス業計	▲6.3	▲11.2
建設業計	▲18.9	▲16.7
非製造業計	▲10.4	▲12.9

経営上の問題点

「生産・販売能力の不足」上昇、「原材料・仕入商品の値上がり」低下

1位の「受注・売上の停滞・減少」2位の「過当競争・製品安」の比率が上昇に転じ、売上動向の懸念が強まっている。この他では、「生産・販売能力の不足」が卸・小売・サービス業で大幅に増加し、順位が上昇した。一方で、「原材料・仕入れ商品の値上がり」は製造業をはじめ各業種で指摘が減少し、問題点としての相対的な重要度は低下している。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

	12年1～3月期		12年4～6月期		12年7～9月期		順位 変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	163	62.0	161	62.2	178	65.7	→
2. 過当競争・製品安	117	44.5	99	38.2	112	41.3	→
3. 人材の育成	89	33.8	99	38.2	102	37.6	↓
4. 従業員の高齢化	53	20.2	61	23.6	69	25.5	↑
5. 生産・販売能力の不足	60	22.8	43	16.6	66	24.4	↑
6. その他経費の増加	46	17.5	57	22.0	59	21.8	↑
7. 原材料・仕入商品の値上がり	74	28.1	70	27.0	47	17.3	↓
8. 人件費の増加	38	14.4	40	15.4	37	13.7	→

《業種別：回答企業数およびD I》

※設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	13	23.1	15.4	▲30.8	▲15.4	▲15.4	▲7.7
パルプ・紙・紙加工品	17	▲29.4	▲41.2	11.8	▲29.4	29.4	▲11.8
金属製品	17	▲23.5	▲17.6	5.9	▲11.8	12.5	5.9
一般機械器具	22	0.0	▲22.7	0.0	▲22.7	18.2	▲22.7
その他製造業	35	▲5.7	2.9	11.4	▲5.7	11.4	▲2.9
製造業計	104	▲7.7	▲11.5	2.9	▲15.4	12.6	▲7.8
旅館・その他宿泊所	16	0.0	6.7	-	-	-	▲13.3
その他小売・サービス業等	97	▲10.3	▲1.0	-	-	-	▲5.2
卸・小売・サービス業計	113	▲8.8	0.0	-	-	-	▲6.3
建設業計	54	1.9	▲27.8	-	-	-	▲18.9
非製造業計	167	▲5.4	▲9.1	-	-	-	▲10.4